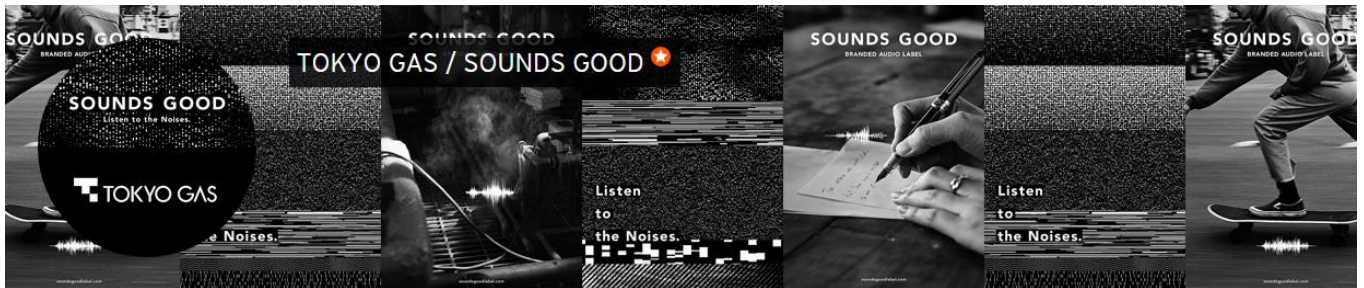


東京ガスがブランデッドオーディオレーベル「SOUNDS GOOD」に参画！  
 ～“音”を通して生活者と繋がる新たなブランディングに挑戦～  
 4種類の“工業用バーナーの燃焼音”を公開中

東京ガスは、株式会社オトバンクと株式会社 QUANTUM によるブランデッドオーディオレーベル「SOUNDS GOOD」に第一弾企業として参画しました。工業用バーナーの燃焼音を採用した ASMR 音源コンテンツ「GAS BURNERS ISSUE」(<https://soundsgoodlabel.com/tokyogas/asmr/da07/>)として4種類の音源を公開しています。



ASMR（エイエスエムアール）とは、Autonomous Sensory Meridian Response の略称で、人が聴覚や視覚への刺激によって感じる、心地良い、または頭がゾワゾワするといった反応や感覚のことです。「自立感覚絶頂反応」と訳されることもあります。近年、この感覚を得られる音源（ASMR 音源）がリラックスできる音、集中できる音として動画サイトなどを中心に人気となり、注目を浴びています。

SOUNDS GOOD は、企業やブランドが持つ“固有な音”から、ASMR 音源を抽出し、生活者に届けていくことで企業やブランドとリスナーを繋ぐ新しいブランディングの形を実現するブランデッドオーディオレーベルです。

東京ガスでは、若者層に向けた接点として、この新たな取り組みに着目し、第一弾企業として参画しました。工業用バーナーの燃焼音という、普段触れることのない音を通して、生活者と東京ガスが繋がり、東京ガスを知っていただく機会を創出していきます。



現在「Metal NIT Burner」、「High Speed Burner」、「Super Flat Burner」、「Full-time FDI Regenerative Burner」の4つの音源が、SOUNDS GOOD で公開されています。最初に公開された「Metal NIT Burner」は、すでに2,500回以上試聴されています（2019年4月1日時点）。Speaker に、映画「12人の死にたい子どもたち」の劇伴音楽を制作するなど、若者を中心に人気を博す気鋭のアーティストである小林うてな氏を迎え、工業用バーナーの燃焼音が奏でる音の魅力を発信しています。

## 【各音源に出てくるバーナーの特徴】

### ■ Metal NIT Burner

耐熱性金属繊維をニット状に編みこんだ柔軟な素材で、円筒状や半球状などに加工することができ、取り扱いが容易な表面燃焼バーナーです。昇温・冷却の応答が速く、500℃前後での分野で使用されますが、ボイラやナチュラルチラーなどの低NO<sub>x</sub>表面バーナーとしての用途もあります。

### ■ High Speed Burner

火炎を約 200m/s の高速高温で炉内に噴出させ攪拌することで、均一な炉内温度分布を得られることができる燃焼室を内蔵したバーナーです。加熱炉や垂鉛メッキ炉などの 200℃~1,000℃のさまざまな分野で使用されています。

### ■ Super Flat Burner

空気の旋回流によって扁平な火炎を形成させ、構造等が簡単に炉体をコンパクトにでき壁面全体からの均一加熱と放射加熱が促進されるバーナーです。加熱炉やアルミ溶解炉など 1,000℃以下の分野で使用されています。

### ■ Full-time FDI Regenerative Burner

バーナーと蓄熱式熱交換器が一体構成された2台のバーナーを1ペアとし、数十秒間隔で交互に燃焼と廃熱の回収を行うきわめて省エネルギー性に優れたバーナーです。鍛造炉や圧延炉など 1,000℃を超える高温分野で使用されています。

東京ガスは、今後も新たな取り組みにチャレンジしていくことで、生活者のみなさまとの接点を広げていきます。